

ピザパイのんにくつよき雨月かな

藤田湘子

はたして、掲句を百句鑑賞の中に入れるべきかと迷った。しかし、俳句の深みとは別の次元の句として残して置きたかった。

湘子先生が毎月鷹誌に発表される句は、片仮名が控えめであった。流行の新語には飛び付かず、かなり普及して熟れたものを時々使われた。その中から句集に残されるには、かなり吟味したはずである。

掲句は「PIZZA」ではなく、「ピザパイ」と何だか行儀が良い。上五音に合わせただけでなく、焼きたての形や匂いを思い浮かばせる。しかも、丸いピザだけでは無く、「雨月」という見えぬものに思いを馳せている。

ラブホテルなども眺めや鯉幟 湘子『去來の花』

1985年 (s60.09.29作) 第八句集『黒』 鑑賞・轍郁摩